

こちら危機管理課お天気相談所

～気象防災アドバイザーによるすぐに役立つ気象情報を月1で配信～

※気象防災アドバイザーとは「地域の気象に精通し、地方公共団体の防災対応を支援することができる人材」として国土交通大臣が委嘱した方です。

気象防災アドバイザー



Yoshiaki Yano

さくらはまだかいな？

青空をバックに咲いたさくらは清々しく、待っていた春を実感させることから、さくらの開花は待ち遠しいものです。

さくらの開花日の予想は、2009年までは各地の気象台などが発表していましたが、民間気象会社などが同等の情報を発表できるようになってからは、気象台などではこの予想をしていません。ただ、さくらの開花と満開の観測については、植物を含む生物に及ぼす気候の影響を知ることが目的に、引き続き気象台などが行っています。さくらの開花は5～6輪以上の花が咲いた状態、満開は花芽(かが)の約80%以上が開花した状態をいいます。

東京靖国神社の境内にあるさくら(ソメイヨシノ)の“標本木”が開花・満開になった日を、1927年(昭和2年)から昨年の2022年(令和4年)まで図にしました。■は開花日、■は満開日を示しています。残念ながら1944～49年(昭和19～24年)の6年間の観測記録はありませんでした。戦争による混乱でさくらどころではなかったのでしょうか。最も早い開花日は2021年と2020年で共に3月14日、最も遅い開花日は1984年の4月11日でした。なお、現在用いられているさくらの開花日の平年は3月24日、満開日は3月31日です。

この図をご覧くださいと、さくらの開花日・満開日が早まっていることがよく分かります。50年で5日ぐらい早まっているのではないのでしょうか。かつてさくらは入学式ごろに満開になり、入学の記念写真の撮影にもよく用いられていました。しかし、近年では“葉ざくら”になっていることもあり、少々残念に思います。

では、東京のさくらの開花・満開はなぜ早くなっているのでしょうか？ 勿論、地球温暖化に伴う気温上昇があります。もう一つは、都市化に伴う気温上昇です。どちらがどのぐらい

影響しているかを数値的に見積もることはできませんが、この2つが主要因であることは確かです。

これから暫くは、各地のさくらの開花・満開の便りが報じられることになりませんが、都市化が進んでいる東京のさくらは、関東地方の中でも先んじて報じられることも多いようです。アスファルトやコンクリートで覆われた東京都心では、日射による熱の蓄積が大きいため冷えにくく、明け方になっても気温が十分下がり切れません。また生活や経済・社会活動に伴い排出される熱量も膨大で、気温を押し上げます。

ここで、地球温暖化による気温上昇も、都市化による気温上昇も、“私たち人間が引き起こしている”ということと共に、その影響を受け、さくらの開花・満開の時期も早まっているということ、皆様と共に胸に刻んでおきたいと思っています。

さて、今年のさくらの開花は、満開は、いつ？

サクラの開花日 ■ と満開日 ■ (東京)

